

# A-12

## 西部金属熱処理工業協同組合

工科高校との連携による「金属熱処理出前講座」の展開

住 所	〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1丁目8番4号 大阪科学技術センター 3F		
U R L	<a href="https://www.seibu.or.jp/">https://www.seibu.or.jp/</a>		
設 立	昭和24年11月	主 な 業 種	金属熱処理業
組 合 員 数	48人	出 資 金	30,000千円

### ■背景・目的

熱処理業界を次世代にどのように継承していくかを検討するうえで、大阪府中小企業団体中央会の組合等事業向上支援事業を活用して人材確保・育成の施策の長期事業計画を策定し、「魅力向上委員会」を立ち上げた。「大交流時代」・「次世代」をキーワードに活動を広げるなか、大阪府内の工科高校の校長や教師との交流機会もきっかけとなり、学生に業界の魅力を知ってもらうため工科高校を対象に金属熱処理出前講座の実行に至った。

### ■取組みの手法と内容

魅力向上委員会が中心となり事業を推進し、委員会は委員長・副委員長・委員の約30名で構成、これに担当副理事長と担当理事も参画している。組織における担当副理事長は単なる相談役ではなく、委員長と担当副理事長の二枚看板で組織を牽引している点が特徴である。

金属熱処理出前講座については組合活動エリア内の工科高校等と連携し、連携先工科高校等の学生を対象に開催している。講座の内容としては1コマ3項目の50分で実施し、「金属熱処理とは」・「金属熱処理業の歴史」からはじまり、ものづくり工程の説明や金属熱処理が世の中にどのように役に立っているか、実技(金槌やポンチ等を用いて金属片を叩く、硬さ試験)などを行っている。金属熱処理が世の中にどのように役に立っているかについては、自転車製造などを題材に熱処理を行うことでチェーンやギヤの耐久性があがる(熱処理がないとすぐにチェーンが伸びてしまい駆動できなくなる)など、学生にわかりやすい事例を用いて説明する工夫を行っている。

立ち上げ当初は学生とのコミュニケーションや間合い、時間配分が課題だったが、質問の仕方や生徒が発言できるような講座の雰囲気づくりに取り組み、講座後のアンケート調査実施により満足度を把握し、課題の抽出と改善を行っている。

### ■成果とその要因

当事業の金属熱処理出前講座は、組合員企業の経営者層が講師となり直接学生に金属熱処理について伝え、質問に応える形式を取り熱量をもったライブ感のある講座となっている。次世代に対する業界の認知度向上を目的に事業の継続性を主眼として取り組んでおり、講座後に毎回アンケート調査をして評価確認を行うなど、丁寧な事業推進が高い評価を得ている成果要因と考えられる。



出前講座実施の様子



魅力向上委員会実施の様子



事業を推進する委員会組織に担当副理事長が参画し、委員長と担当副理事長の二枚看板で組織を牽引していることが、事業・活動実現のキーファクターとなっている。

支援機関と連携して  
組合活動が活性化した事例